

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	35
基本施策	10	地域福祉の推進	評価 責任者	保健福祉課長 山崎 佳之
単位施策	3	地域の「たまり場」づくりの促進		

1 施策の概要

基本方針	地域住民が日頃から気軽に集まり、高齢者や子どもたち、障がい者などの交流が繰り広げられる「たまり場」づくり活動を積極的に支援する。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	地域の住民が日頃から気楽に集まれる既存施設（たまり場）を計画的に整備し、地域福祉活動等の拠点作りの支援をしている。	沢木住民センター等、地域の住民が日頃から気楽に集まれる既存施設（たまり場）を計画的に整備・改修し、地域福祉活動等の拠点作りの支援をしている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	地域住民活動の拠点を整備し、活動の利便性が向上することが必要であり、施設整備を計画的に進めなければならない。	地域住民活動の拠点を整備し、活動の利便性が向上することが必要であり、施設整備を計画的に進めるとともに、ソフト面で支援する仕組みづくりも今後の課題である。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	社会福祉施設等改修整備事業	社会福祉係	3,386	A	継続/現状維持	A
②	沢木住民センター建設事業	社会福祉係	199,496	A	終了	A
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	地域住民の社会参加、生きがい活動の促進を図るための拠点施設の整備は、必要である。
② 有効性	A	既存施設の計画的な整備により、施設の延命化が図られ、住民のたまり場が確保できることは、有効である。
③ 効率性	A	地域の住民のたまり場を確保することにより、地域活動が活発化していくことは、効率的である。
④ 公平性	A	たまり場は、地域住民が広く利用できる施設であり、その整備、改修は公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	地域の意見を聞きながら事業を実施している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
地域住民が安心して利用できるように、社会福祉施設の改修及び建設を計画どおり事業を進めることができた。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
各地区の住民が、安心して施設を使用できるよう、住民の意見を聞きながら、計画どおり事業を進めることが重要である。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		